

「第4回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」

平成28年11月15日（火） 土木学会 講堂

# 都市再生・地方創生とふるさとづくり — 熊本地震からの復興まちづくりの現場から —



田中尚人：熊本大学政策創造研究教育センター 准教授

naotot@kumamoto-u.ac.jp

# 文化的景観 とは

「文化的景観とは、以下の**文化財**を指します。地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された**景観地**で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできない**もの**（文化財保護法第二条第1項第五号より）」

その要件としては、**①歴史**、**②自然環境**、**③生活・生業**、が挙げられ、これらを保持する**地域の景観を文化財とする**ものである。

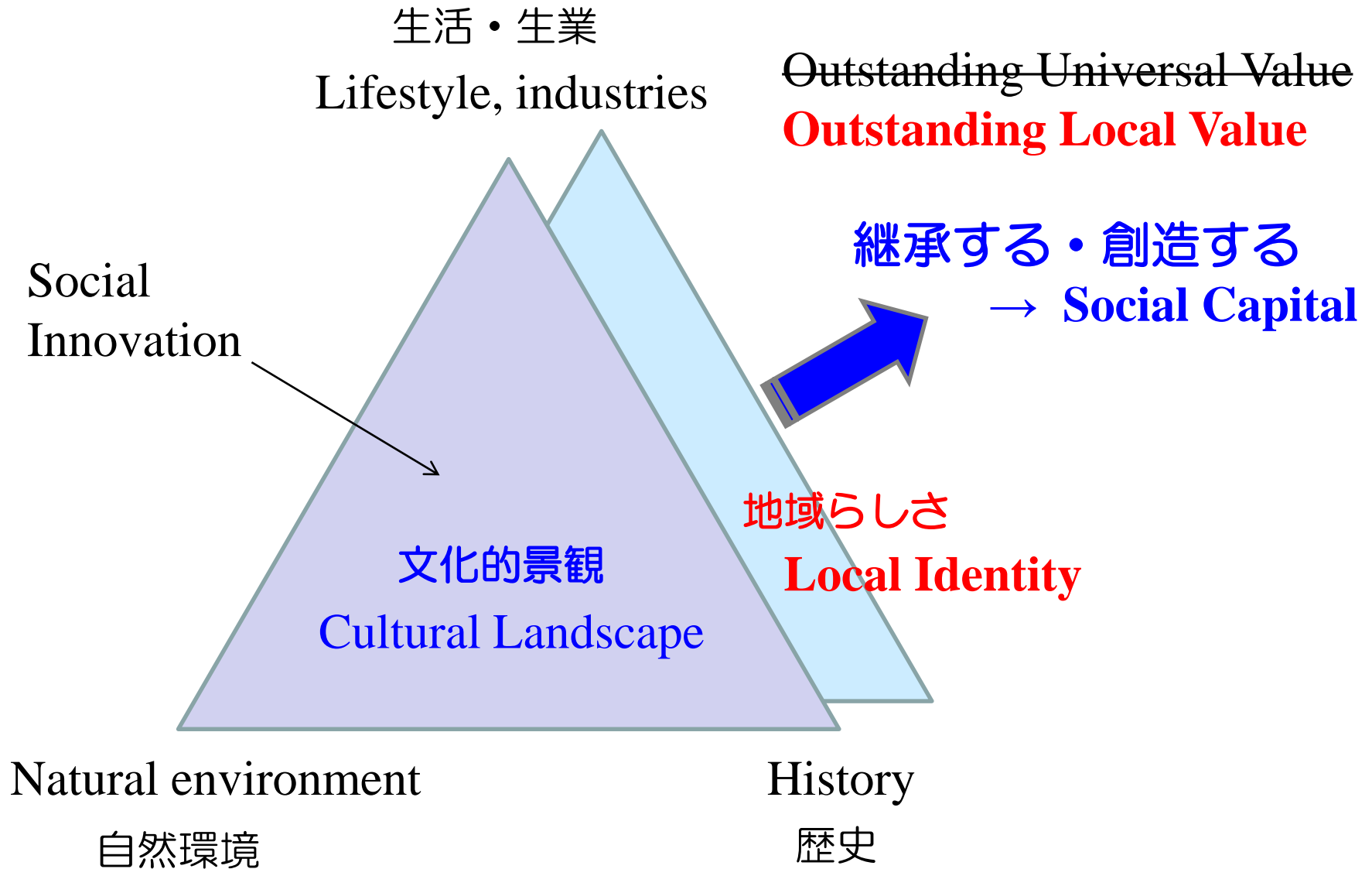


【第1号】近江八幡の水郷（滋賀県近江八幡市）

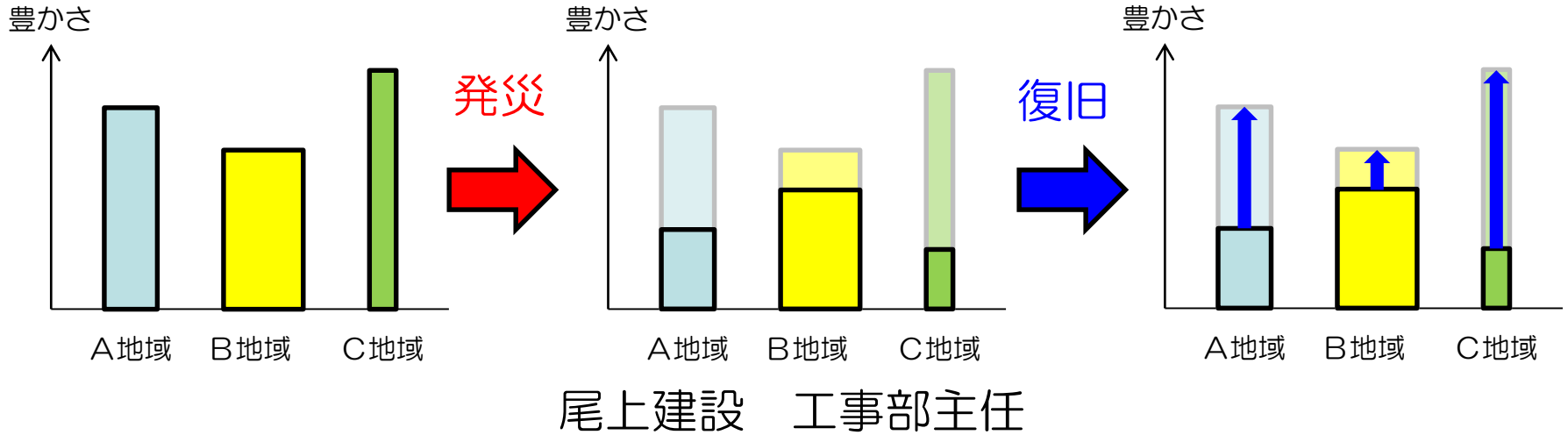


【第2号】一関本寺の農村景観（岩手県一関市）

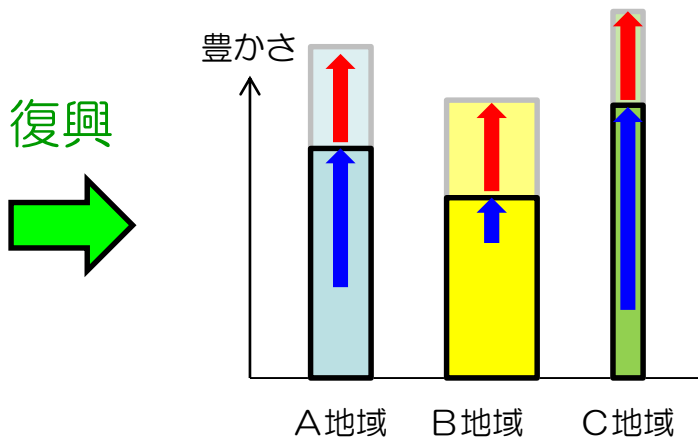
# 文化的景觀 Cultural Landscape



# 「復興」は、「復旧」の先にあるのか？

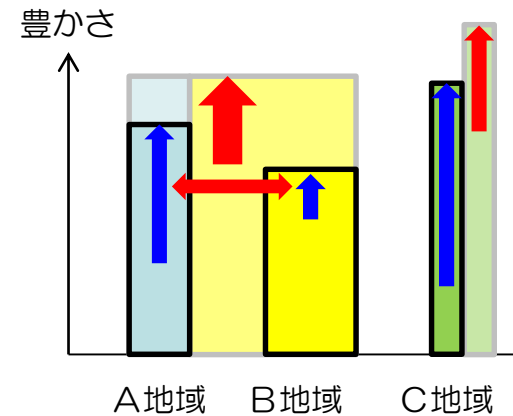


「復旧」の延長線上にある「復興」



新しいカタチの「復興」？

or



災害の「後」と「前」は繋がっている。

災害は地域の課題を加速させる。

## レジリエンス

「脅威に対してびくともしない強さ」ではなく、  
「脅威をしなやかに受け止め、柔軟に回復する力」  
諦めない。誰かと一緒に生きていく。

小さなまるごとを受け止める。

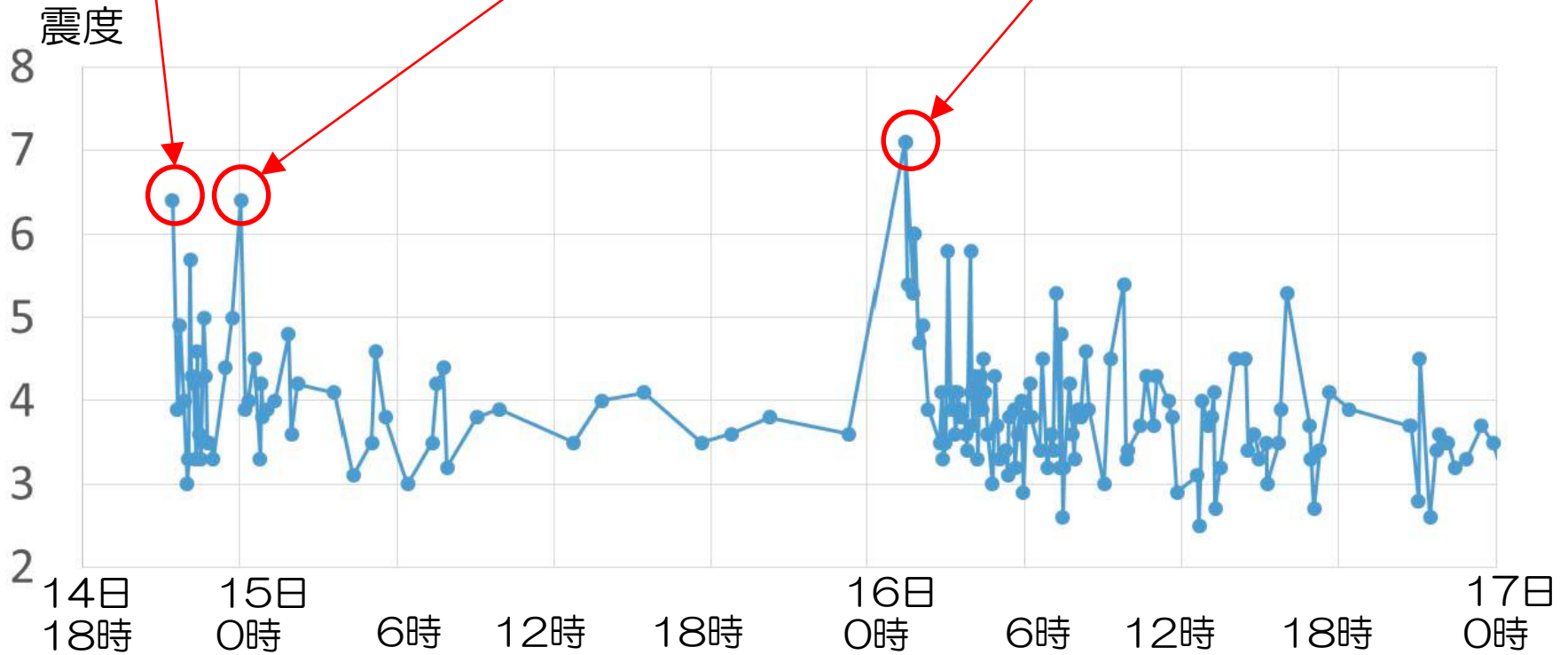
身の丈に応じて、先祖から受け継いできたものを、  
後生に伝える、当たり前前の「生活・生業」の復興。

# 熊本地震の発生状況

2016年4月14日(木)  
21:26  $M_j$ 6.5/震度7

2016年4月15日(金)  
00:03  $M_j$ 6.4/震度6強

2016年4月16日(土)  
01:25  $M_j$ 7.3/震度7

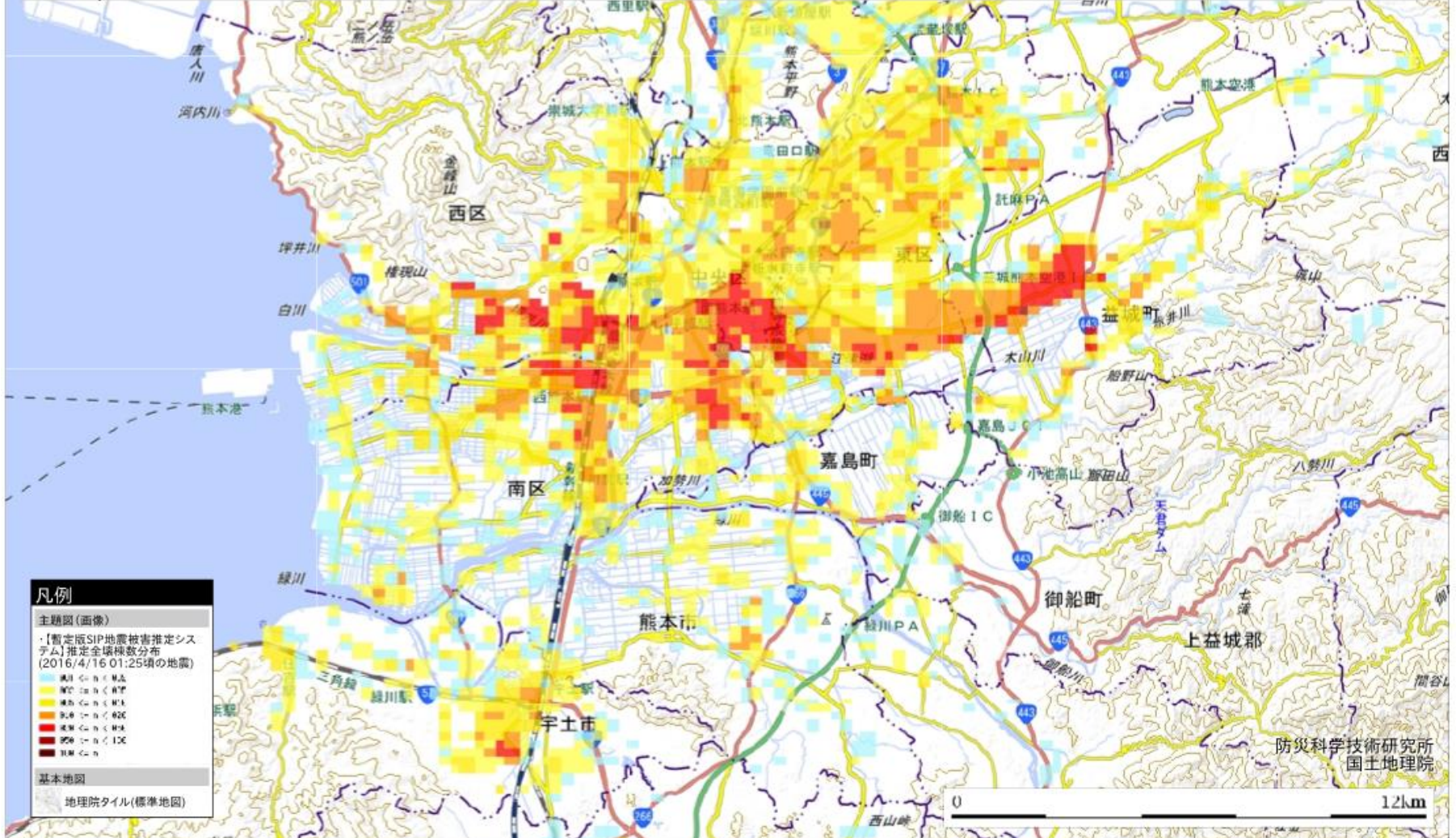


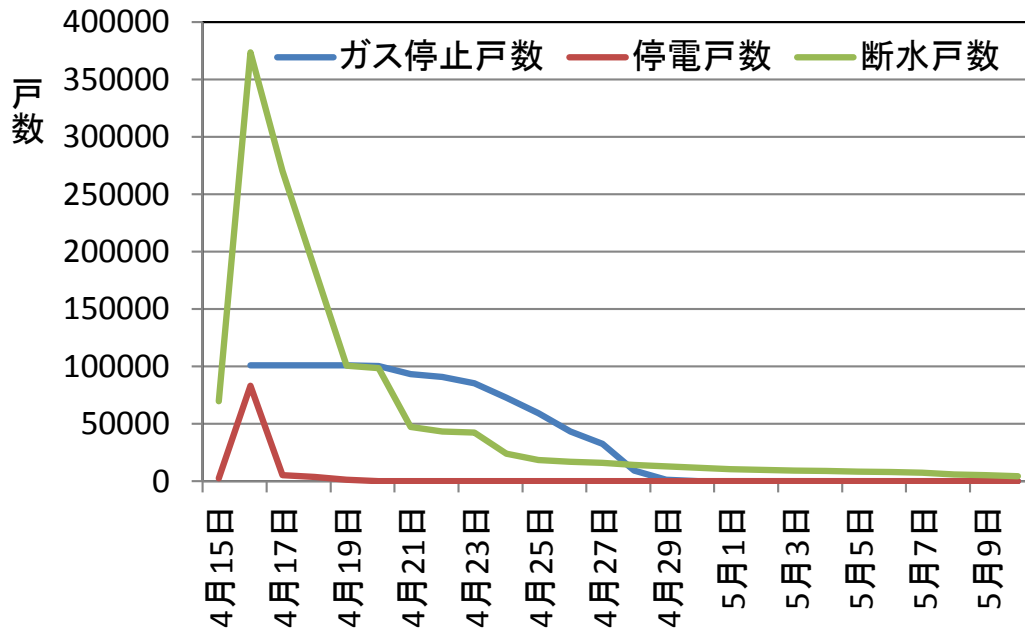
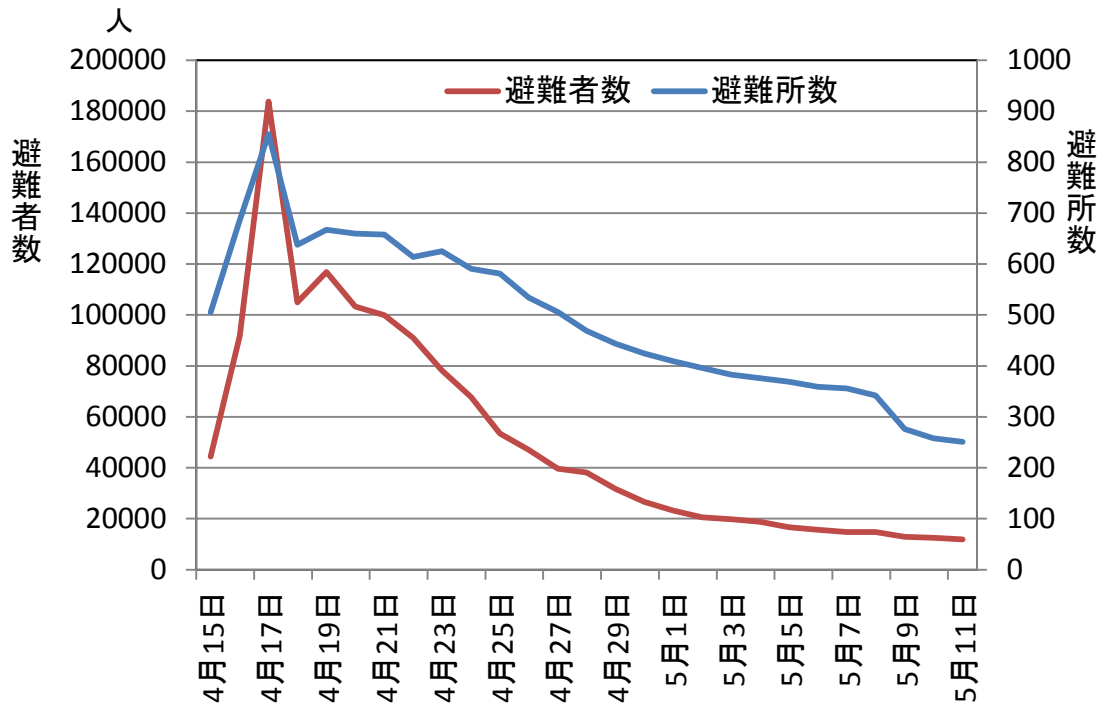
注) 桑原雅夫教授 (東北大学) 研究グループ作成資料をもとに編集

# 熊本地震による全壊棟数分布

2016/05/26 11:04

2016/04/16 01:25頃発生地震 推定全壊棟数分布(暫定版SIP地震被害推定システム)





熊本大学大学院  
 先端科学研究部  
 減災研究センター  
 柿本竜治先生集計



- 被災した市庁舎，避難拠点

- 行政支援

(罹災証明等応援職員)



宇土市役所



八代市役所



益城町役場



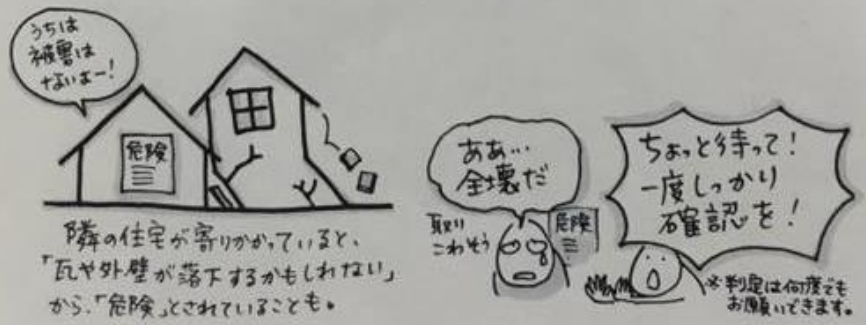
応急危険度判定（赤紙・黄紙・青紙）は、いま、家に立ち入ることができるかを判定するものです。

### 応急危険度判定

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>応急危険度判定書</p> <h2>危険</h2> <p>UNSAFE</p> <p>◆この建築物に立ち入ることは危険です<br/>◆立ち入る場合は専門家に相談し、応急処置を行っていただく下さい</p> <p>建物名称<br/>住所：<br/><br/>電話番号<br/>判定日時 年 月 日 時・分 秒 判定者<br/>市災害対策本部 印</p> | <p>応急危険度判定書</p> <h2>要注意</h2> <p>LIMITED ENTRY</p> <p>◆この建築物に立ち入る場合は十分注意して下さい<br/>◆必要時に確認する場合は専門家に相談下さい</p> <p>建物名称<br/>住所：<br/><br/>電話番号<br/>判定日時 年 月 日 時・分 秒 判定者<br/>市災害対策本部 印</p> | <p>応急危険度判定書</p> <h2>調査済</h2> <p>INSPECTED</p> <p>◆この建築物の被災程度は安全と判定されず<br/>◆建築物は使用可能です</p> <p>建物名称<br/>住所：<br/><br/>電話番号<br/>判定日時 年 月 日 時・分 秒 判定者<br/>市災害対策本部 印</p> |
|--|---|--|



応急危険度判定は、被災度（全壊・半壊など）を判定するものでも解体・補修を判定するものでもありません



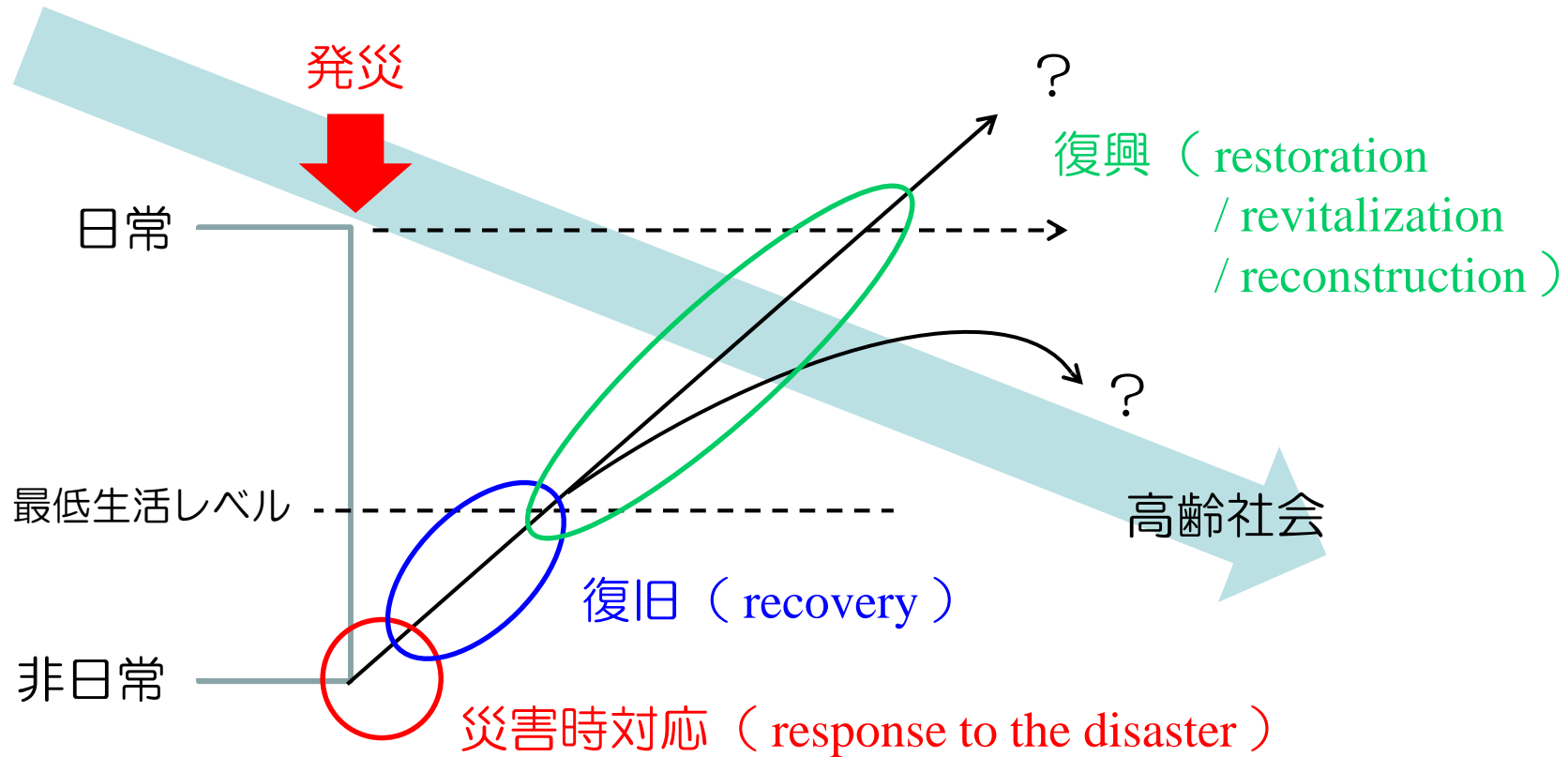
隣の住宅が寄りかかっていると、「瓦や外壁が落下するかもしれない」から、「危険」とされていることも。



17 April, 2016

健軍東小学校

# 災害からの復旧・復興



「非日常」を「日常」に埋め込む  
「非日常」を「日常」につなげる。



2016.7.7 (木) 6月豪雨災害後







2016.7.21 (金) 12:00 倒壊した阿蘇神社本殿









## 「地域で団らん、共食を文化にしよう」

### 【活動理念】

食べたい人・作りたい人・かたりたい人が集まり、食卓を囲むことで、食の質と心を豊かにし、健康で生き生きとした生活に繋げる「こ食」から「共食」を進める取り組みです。

### 【活動方針】

1. ちがいを認め、おたがいさまの活動をします
2. 無理せず楽しく、できるしこのことをします
3. みんなで一緒につくります

おたがいさま食堂は活動を通して、自分にできる役割を考え担うおたがいさまの精神で、人の幸せや自然の恵みに感謝し心豊かに共に成長しながら元気に暮らせる大家族のようなまちづくりを目指します。



2016.4.24 (日) 12:00 第2回おたがいさま食堂くまもと



2016.6.5 (日) 12:00 第3回おたがいさま食堂くもと



2016.8.16 (火) 18:00 第3回熊本できるしこ学ぶ会「意志ある未来を選択する」クロスロード



2016.5.23 (月) 18:00 お寿司の炊き出し@火の君文化会館 (熊本市南区)

# くまもと復興カフェ

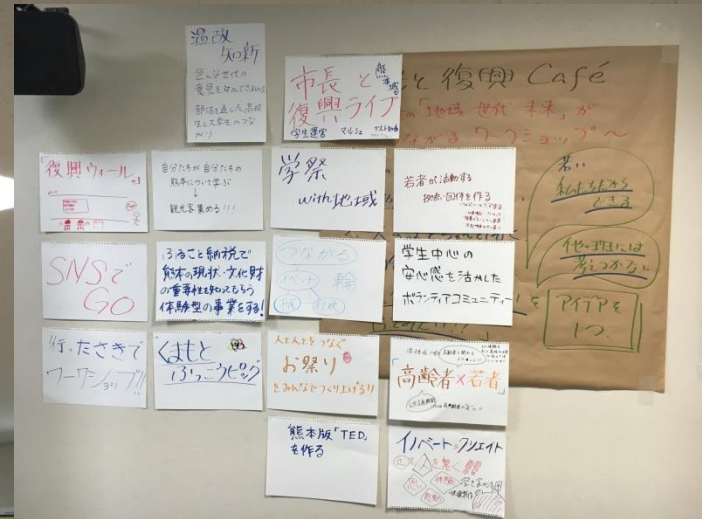
## 熊本の「地域・世代・未来」がつながるワークショップ

今、熊本市では平成28年熊本地震からの早期復旧に向けた「熊本市震災復興計画」を策定中です。どなたでも気軽に参加できるワークショップ「くまもと復興カフェ」で、これからの熊本の復興まちづくりについて、一緒に語りませんか？市民の力で様々な発想を持ち寄り、震災から復興した「明日の熊本」の姿を想像（創造）しましょう！

ファシリテーター  
(進行役)

熊本大学  
政策創造研究教育センター

田中 尚人 准教授



2016.8.28 (日) 11:00 くまもと復興カフェ 午前：高校生部


**益城町 未来トーク**
ましき  
みらい

**10/8(sat)15:00 ~ 17:30**  
 ◎ 益城町保健福祉センターはびねす

**益城町未来トークとは**
公式アカウント

被災した益城町の復興にあたって、「こんなことが出来たら  
 嬉しいね!」と思うアイデアを若者同士で楽しみながら  
 話し合うイベントです。町の未来が明るくなるようなグ  
 ヲドアイデアを一緒に考えませんか!? フリドリリンクや  
 お菓子も用意しています。お気軽にご参加ください!




益城町にテースポットが  
 あると良いよね!

おしゃれなカフェとか  
 雰囲気の良い商店街がほしい!

フェスで町を元気にしたい!

空港あるし、遠距離恋愛の  
 聖地とか良いかも!

にぎわいを出したいよね!

自分達で企画できたら面白そう!

WELCOME  
 社会人!

WELCOME  
 高校生!

WELCOME  
 大学生!



2016.10.8 (土) 17:00 益城町未来トーク!



「高齢社会が迎える創造的復興」 日常と非日常，災害前と後

- 農地，農村の被災と農業の復興
- 文化財の修復と観光復興－熊本城・石工
- 日常の風景を取り戻す復興まちづくり
- 復興における「チャレンジ」
- 復興まちづくりと若者

災害復旧・復興の現場における苦労，課題

- A. チャレンジがしにくい制度，システム
- B. 文化財の修復と観光復興
- C. 埋まらない行政と市民とのギャップ

それに対する課題解決の方針，方策など

- a. ソーシャルイノベーション：過疎対策，地方創生
- b. 歴史，特に技術史，計画史の評価，伝統工法の見直し
- c. フォロワーシップ，誰かと一緒に，外部との連携

# 地方創生 まち・ひと・しごと総合戦略

## 基本的な考え方

- ①人口減少と地域経済縮小の克服
- ②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

## 政策の企画・実行に当たっての基本方針

### ①政策5原則

従来の施策（縦割り、全国一律、バラマキ、表面的、短期的）の検証を踏まえ、政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づき施策展開。

### ②国と地方の取組体制とPDCAの整備

国と地方公共団体ともに、5か年の戦略を策定・実行する体制を整え、アウトカム指標を原則としたKPIで検証・改善する仕組みを確立。

## 今後の施策の方向

基本目標① 地方における安定した雇用を創出する

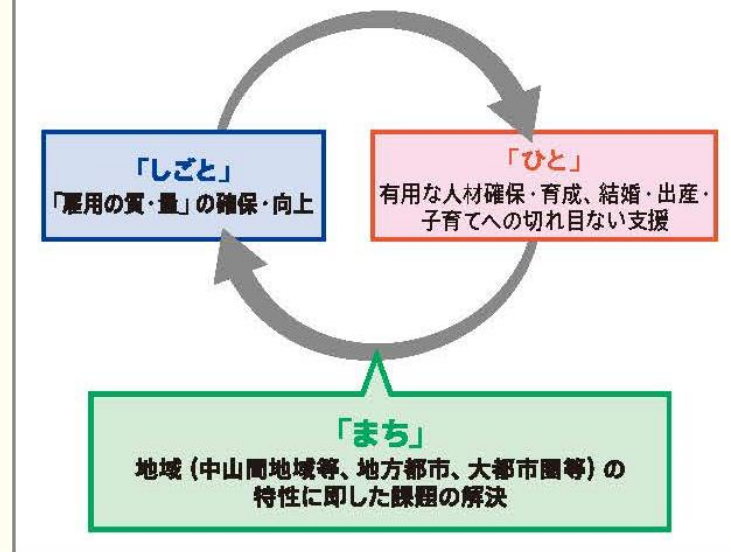
基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

国家戦略特区・社会保障制度・税制・地方財政等

「しごと」と「ひと」の好循環、  
それを支える「まち」の活性化



復興に失敗はない  
復興に終わりはない

2016.9.24（土）油布の雨景。田んぼの水面は、養鯉。山古志は錦鯉発祥の地。

地域らしさを継承するために

さまざまな主体が、  
変化を恐れずに、  
無理せずに（楽しく）  
取り組む。

多様性：Diversity

有機的：Dynamism

持続可能：Sustainable

志を果たしに帰ってきたくなる

ふるさとにおける

五感の風景を取り戻す